総合的な学習の時間学習指導案

呉市立昭和北小学校
指導者　寺川　真優

学　年	第４学年２組（男子１９名　女子１６名　ひまわり学級２名　計３７名）
単元名	知ろう！　調べよう！　つなげよう！　わたしたちの町の防災

１　単元について

【単元観】

本単元は，本質的な問い「わたしたちは地域とどのように関わり，これからどう生きていくのか。」を基に構想した。「校区の未来のために自分たちにできること」という視点から自らの課題を設定し，解決していくことを通して，本中学校区の資質・能力「知識・技能」「コミュニケーション力」「自らへの自信」を育成することをねらいとしている。

本単元で，児童は，校区の安全を守る人たちに話を聞き，自分たちにできることを考え，発信していく。このことを通して，児童一人一人が，地域の一員として，地域との関わりや生き方について考えをもつことができるようにしたい。また，地域の方々との交流や学年間での交流を通して，大人だけでなく自分たちも地域を支えることができることに気付き，発見を地域や北小の他学年に発信しようとする思いをもつことを期待している。

【児童観】

本学級の児童は，これまでの学習を通して，課題解決に向け，資料や情報を集めることはできるようになっている。事前アンケートでは，「自分の考えをノートやワークシートに書いている」という項目では８８％，「友達の意見を聞いて，進んで自分の考えを分かりやすく伝えている」の項目に対しては９４％の児童が肯定的回答をしている。このことから，児童は，考えをもち，伝えることはできていると考える。しかし，伝えるだけで終わってしまい，友達との交流を通して学びが深まるまでには至っていない。そのため，友達の意見と比較しながら聞き，自分の意見に取り入れることができるような話合いの手立てが必要であると考える。

防災に関しては，これまでも各教科等で学んできたが，災害の備えについての意識には個人差がある。より自分事として考えていく必要がある。

【指導観】

①単元のゴールには，「北小校区の未来を明るくするために，自分たちにできることを考えよう」を設定し，目的意識をもって活動に取り組めるようにする。自分の住む地域について調べたことを防災マップに整理し，発表し合うことで，知らなかった被害について知ったり，危険箇所を調べたりすることで，自分や北小のみんなが安全に生活するために，自分たちにできることがあるのではないかという課題を自ら設定できるようにする。

②自分の住む地域について調べたことを，色の付いた付箋に視点に沿って分けて整理することで，分かりやすく防災マップに整理し，校区や自らの課題を考えやすくする。

③実際に校区を回って，危険箇所を確認したり防災アドバイザーに話を聞いたりすることで，課題の解決に活用可能な知識を身に付けさせる。

2　単元の目標

○　校区で起こった災害を知り，危険場所を調べることを通して，災害から地域を守るために自分たちにできることを考え，発信することができる。

3　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識・技能	コミュニケーション力	自らへの自信
①地域探検や調べ学習を通して，情報を比較分類するなど，探究の過程に応じた技能を身に付けることができる。	①相手や目的に応じて分かりやすくまとめ，表現している。	①課題解決のために，目的意識をもって，進んで粘り強く活動し，自分の生活に生かそうとしている。 ②自分や他者のよさに気付き，協力して探究活動に取り組み，自分の考えをもとうとしている。

4　単元の計画（全４５時間）

次	学習活動	評価	
		評価規準	評価方法
第一次㉔	課題の設定 ○　防災について知る。 情報の収集 ○　タブレット端末で，防災について調べる。 整理・分析 ○　グループごとに調べるテーマを決めてまとめて，交流し合う。	【知識・技能①】 ・タブレットや資料を用いて必要な情報を集めている。 【思考・判断・表現①】 ・調べたことを整理し，模造紙にまとめて発表している。 【主体的に学習に取り組む態度①】 ・進んでテーマを決め，災害について調べようとしている。	ワークシート ワークシート 作品 行動観察
第二次⑫	新たな課題の設定 ○　北小校区の防災について知る。 ○　自分たちで危険だと考える場所や過去に被害に遭った場所について調べたり聞いたりする。 ○　地域の方にお話を聞き，今までに起きた災害や危険箇所を知る。	【知識・技能①】 ・進んで地域について調べ，必要な情報を収集している。	地図 行動観察

	整理・分析 ○　調べたことを基に，グループで防災マップにはどのようなことを書く必要があるか考える。 ○　考えたことを交流し合い，整理する。 まとめ・表現・振り返り ○　整理したことを基にグループごとに防災マップを作成し，発表する。 ○　交流し合い，校区のことをもっと知ることで，第三次の災害から命を守るために「自分たちにできること」は何かを考える意識を高める。	【思考・判断・表現①】 ・調べたことをもとに，防災マップにどのようなことを書く必要があるか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度②】 ・地域の方のお話を積極的に聞こうとしている。 ・友達と積極的に交流し，「自分たちにできること」について考えようとしている。	ワークシート
第三次⑨	新たな課題の設定 ○　作成した「北小防災マップ」から，感じたことを基に「自分たちにできること」を考える。 整理・分析 ○　自分の考える「自分たちにできること」を友達と交流し合う。本時 ○　友達と交流した上で，整理しながら「実行すること」を決める。 実行・振り返り ○　「自分たちにできること」を実行するためには，どうすれば良いか考える。 ○　考えたことを実行に移す準備をする。 ○　まとめた防災マップと「自分たちにできること」を実行し，北小のみんなに発信する。	【知識・技能①】 ・防災マップ作りから，自分たちにできることは何か考えている。 【思考・判断・表現①】 ・自分の考えを友達に伝えるとともに，友達の考えと自分の考えを比較しながら考えている。 ・友達の考えを聞いた上で，自分の考えを整理している。 【主体的に学習に取り組む態度①】 ・「自分たちにできること」を考え，進んで実行に移そうとしている。	ワークシート 行動観察 ワークシート 行動観察 ワークシート

5　本時の目標

○　作成した防災マップを基に交流し合い，自分や北小校区みんなの命を守るために，自分たちにできることについて，考えを広げることができる。

6　本時の展開（３８時間目／全４５時間）

学習活動	指導上の留意点	評価規準 〔観点〕 （評価方法）
1　前時の学習を振り返る。	○　グループごとに作成した「北小防災マップ」を見て，気付いたことや感じたことを想起し，発表させる。	
2　本時のめあてを確認する。	○　児童の気付きから本時のめあてへ，つなげるようにさせる。	
�め「北小防災マップ」をもとに，自分たちがすぐにできることを考えよう。		
3　「自分たちにすぐにできること」は何か考える。	○　「何を」「どのように」「だれに」「何のために」の視点で考えたことを付箋に書き出させる。 ○　地域の方のお話やグループごとに作成した防災マップを基に，考えられるように掲示しておく。	
4　考えたことをグループで交流し，まとめる。	○　付箋を動かしながら，似ている意見や違う意見を分類しながら話し合わせる。 ○　グループで１つ実行できそうなことを決め，「何を」「どのように」行うかを考え，ワークシートに記入させる。	○自分の考えを友達に伝えるとともに，友達の考えと自分の考えを比較しながら考えている。 〔思考・判断・表現〕 （行動観察・ワークシート）
5　全体交流をし，整理する。	○　グループごとにワークシートをホワイトボードに挟み，発表させる。 ○　全てのグループの考えを黒板に掲示し，「すぐに実行できそうなことは何か」という視点で話し合い，整理させる。	
㋮みんなで交流し合うことで，自分たちにできることを考えることができた。		
6　本時の学習を振り返る。		
振り返り例 ・自分は危険箇所を事前に知らせることが大切だと考えたので，作った防災マップを家族に渡そうと思った。 ・自分の家は，川が近いので，大雨に備えて防災グッズを準備しておく必要があることが分かった。		

○ワークシート例

【個人用】

総合的な学習の時間　　名前(　　)

め　「北小防災マップ」をもとに，自分たちがすぐにできることを考えよう。

できること（何を）	方法（どのように）
目的（何のために）	相手（だれに）

ふ

【グループでの話合い用】

（　　）はん

できること（何を）

方法（どのように）

目的（何のために）

相手（だれに）

7　単元で育成を目指す資質・能力に係る成果と課題

【思考力，判断力，表現力等（コミュニケーション力）の成果（○）と課題（★)】

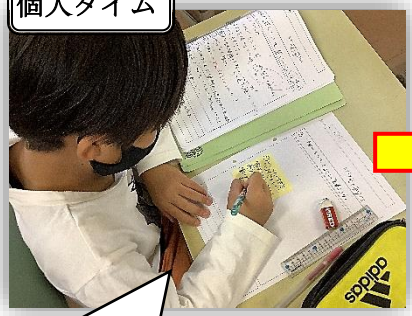
○グループでの話合いを，ホワイトボードに付箋を貼りながら行うことで，児童にとって視覚的に分かりやすく，スムーズに進めることができた。

★ホワイトボードに対して付箋紙が小さくて読みにくかった。項目ごとに書き込み，表のようにして貼っていくと話合いの際に分かりやすかったのではないかと考える。

★全体交流は，発表だけで終わってしまったので，グループの考えが深まらなかった。各グループの考えに対して，アドバイスや似ているところを討論し合う場を設定する必要があった。

コミュニケーション力向上のための取組の工夫①『授業形態のスモールステップ』

個人タイム



学びの足跡として，毎時間記述したワークシートを「防災ファイル」に綴じていき，振り返りながら自分の考えを深めた。グループタイムで発表したいことは付箋紙に書きとめた。

グループタイム

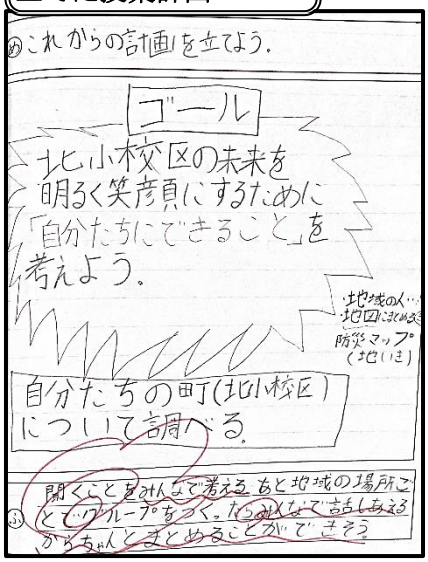
自分の考えを書いた付箋紙をもとに，意見を発表しながら，ホワイトボードに添付した。全児童発表する場を設定した。

全体交流タイム

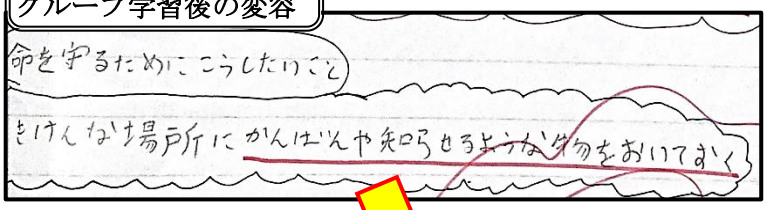
グループタイムでまとめた意見をワークシートに分かりやすくまとめ，代表者が全体で発表を行い，意見交流をし，コミュニケーション力の向上を図った。

コミュニケーション力向上の取組工夫②『児童の防災シートの活用』

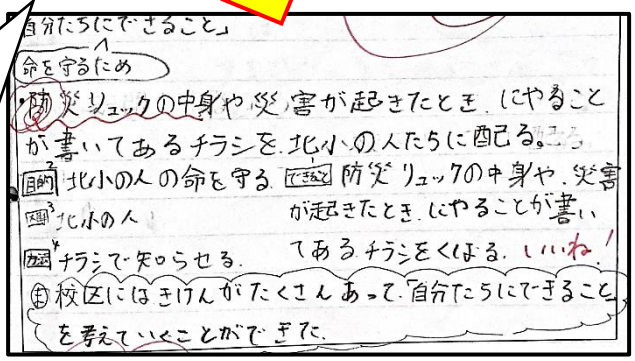
単元のゴールをもとに立てた授業計画



個人の調べ学習からグループ学習後の変容



個人タイムでは，命を守るための具体的な取組方法案が書けない児童が多かった。グループ学習後，より具体的な取組が意識化され，相手や目的に応じて分かりやすく表現できるようになった。



【学びに向かう力，人間性等（自らへの自信）の成果（○）と課題（★）】

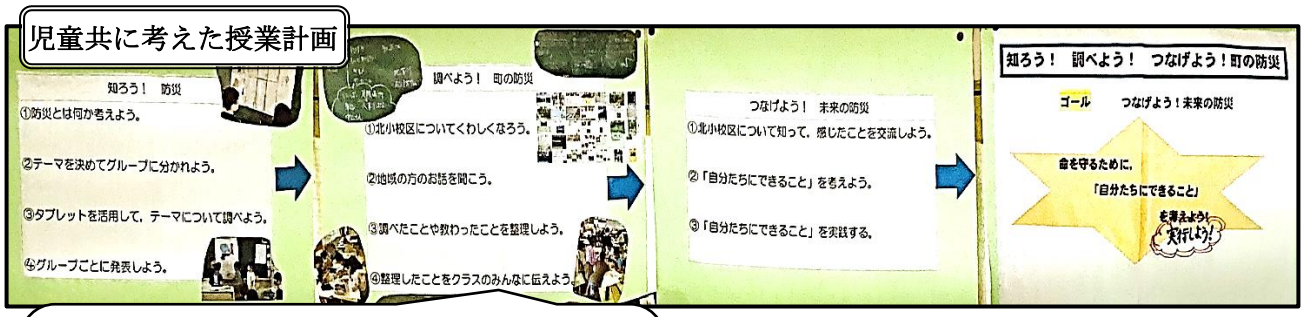
○地域の防災リーダーさんにゲストティーチャーとして来ていただいたことで，児童の意欲が高まり，「自分たちにできること」を地域のことを思って，より具体的に考えることができた。

○単元のゴールを示し，児童と共に立てた授業計画を掲示し，進めていくことで，児童が主体的に学ぶことができた。

★学習のまとめでは，めあてに沿った表面的なまとめしか出なかった。一人一人が「『自分たちにできることは，早めの避難を呼びかけるポスターをつくって掲示すること』と考えることができた。」など，具体的に書かせるとよかったのではないかと考える。

自らへの自信に対して効果的だった取組『学習環境＆調べ学習の工夫』

児童共に考えた授業計画



学習のゴールを提示し，学習の計画を児童と共に考えることで，学習への意欲向上を目指した。授業の流れも把握でき，何を考えたらよいのか明確になり，自分の考えを表現する自信にも繋がった。

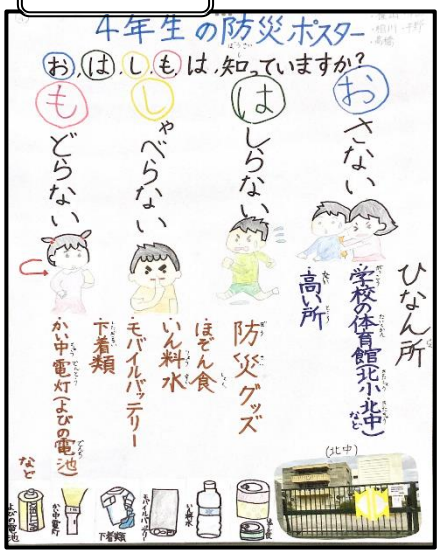
防災意識を高めた
危険地域調べ＆マップ作り

実際に体験した豪雨災害を想起させると共に，地域を歩いて調べさせることで，防災への意識を高め，自分にできることは何か，みんなにも伝えたいという意識を高めた。

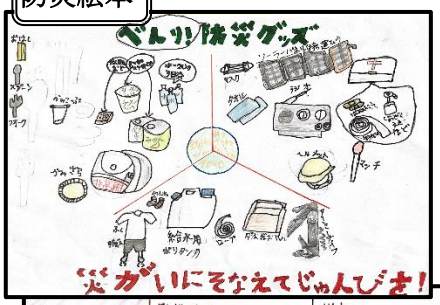
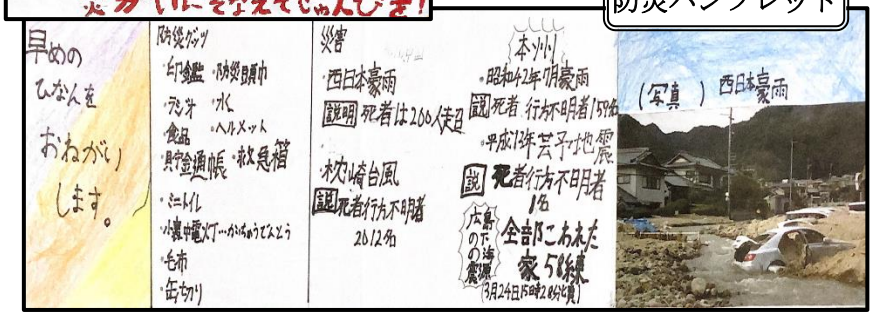
主体的に考え出した児童作品

『地域や校内における発信』

防災ポスター



防災絵本



防災パンフレット